

9-3 中国・四国地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

[水準測量]

第1図は、水準測量による室戸岬の山越えの路線に沿った上下変動である。最上段に示す前回の測量から今回の測量までの期間における変動については、室戸半島中央部（山側）の隆起傾向は、明瞭とは言えない。

第2図は、高知県安芸市から室戸岬を通り高知県海陽町に至る路線に沿った上下変動である。室戸岬先端側の沈降傾向に変化は見られない。

第3図は、愛媛県宇和島市から高知県土佐清水市に至る水準路線に沿った上下変動である。通常は、第2段目のように土佐清水の足摺岬側が平均5mm/y前後の速度で沈降しているが、豊後水道における長期的SSEの発生時には高知県宿毛（すくも）市を中心として隆起が生じる。最上段のグラフにみられる宿毛市付近の相対的隆起傾向は、2009年秋～2010年夏頃に豊後水道で発生した長期的SSEの影響と考えられる。

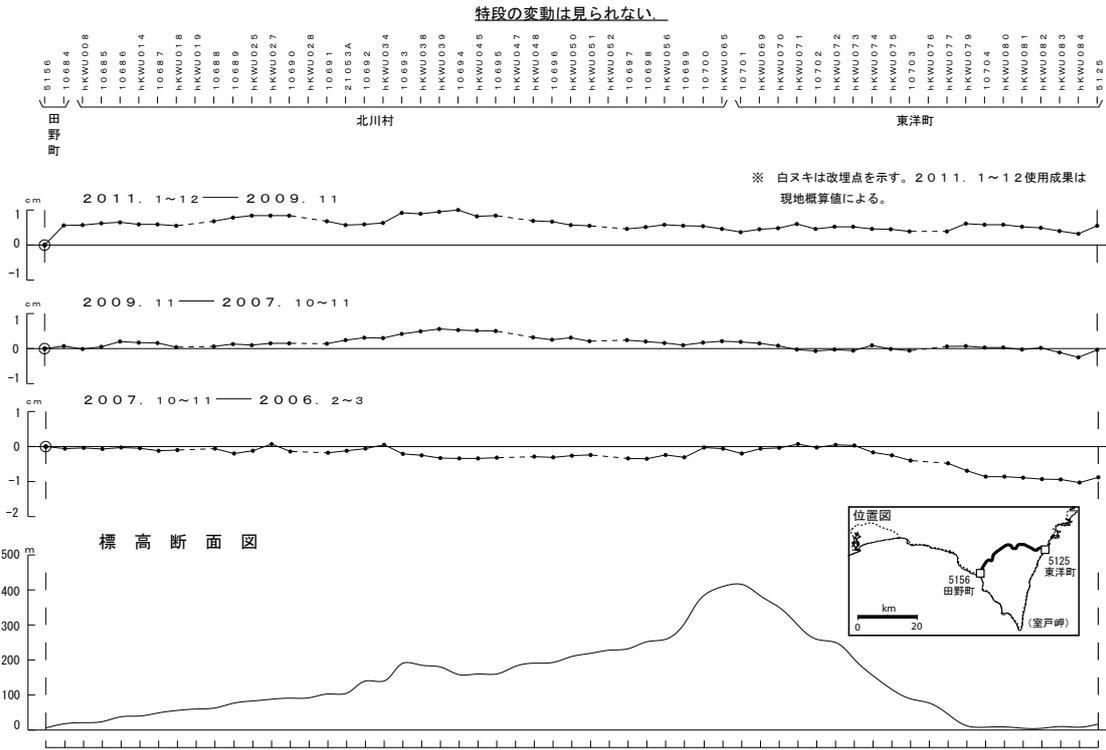
第4図は、水準測量による室戸地方の上下変動の経年変化である。最近の測量結果は長期的な傾向の延長上にあるように見える。

第5図は、水準測量による室戸岬山越えの路線の上下変動の経年変化である。場所によって上下変動速度が異なる。

[EDM 辺長 中央構造線断層帯]

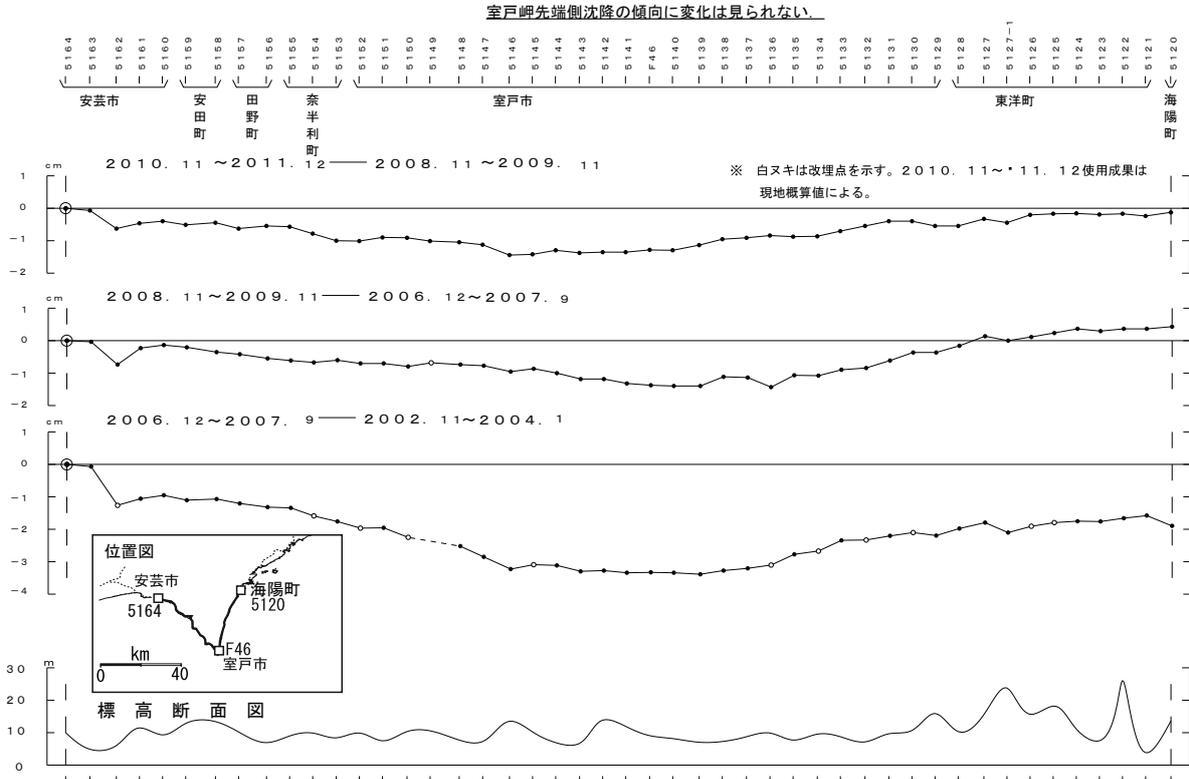
第6図は、阿波池田地区の精密辺長測量結果である。観測地区は、中央構造線断層帯の推定断層が通っている場所に当たる。最新の観測結果には、2年前の前の観測結果からの変化はほとんど見られない。

田野町～東洋町間の上下変動



第1図 田野町～東洋町間の上下変動
Fig. 1 Results of leveling survey from Tano town to Toyo town.

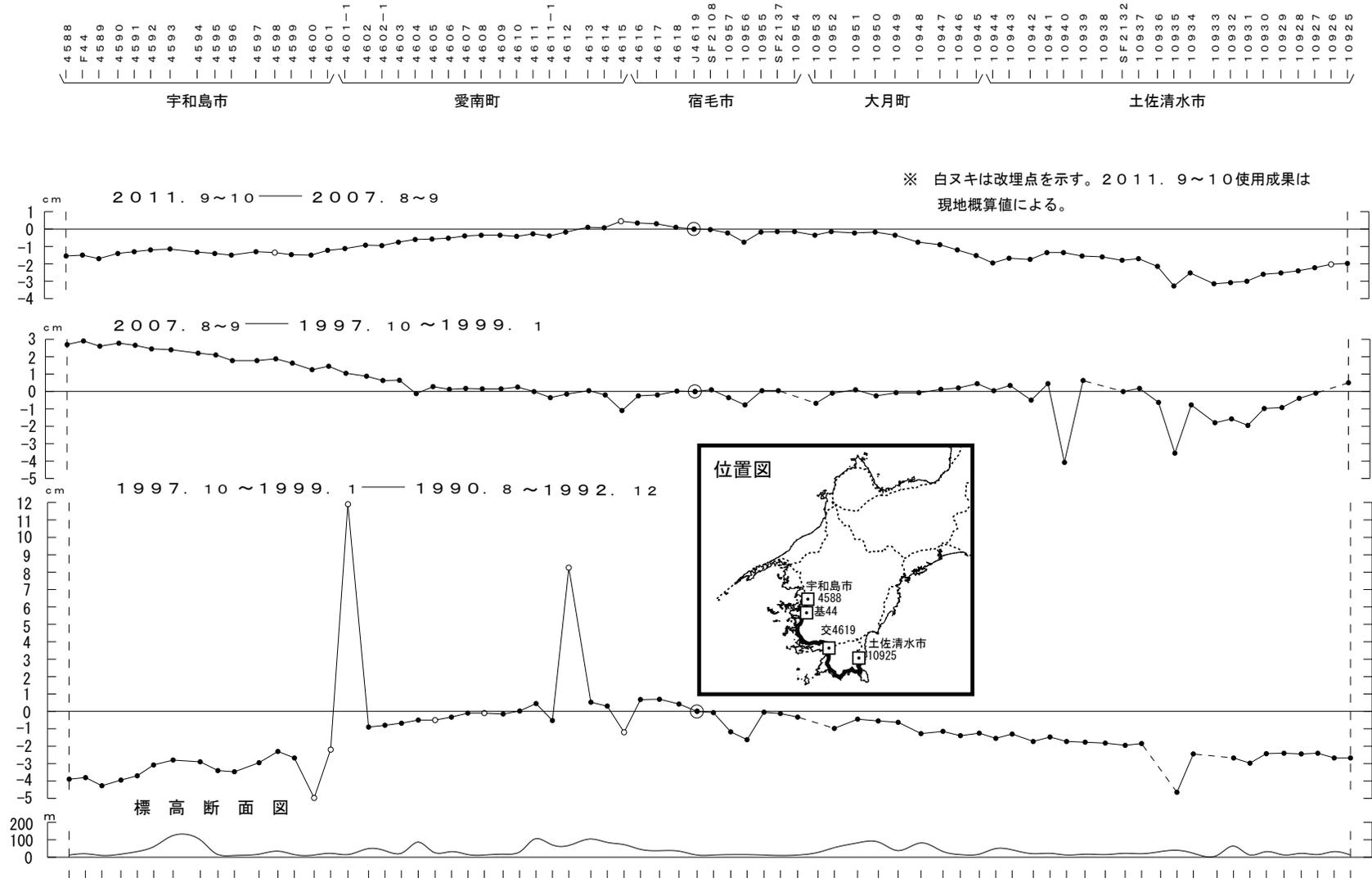
安芸市～海陽町間の上下変動



第2図 安芸市～海陽町間の上下変動
Fig. 2 Results of leveling survey from Aki city to Kaiyo town.

宇和島市～土佐清水市間の上下変動

経年的な足摺岬側沈降と豊後水道SSEに伴う宿毛市を中心とした隆起が混じった上下変動が見られる。

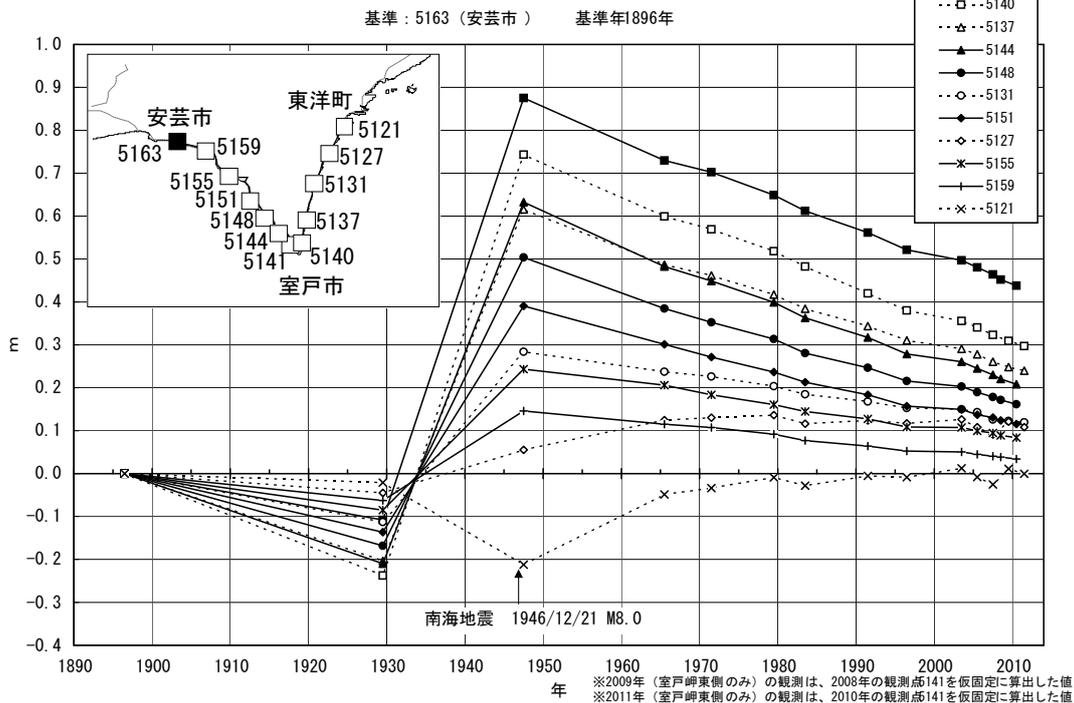


第3図 宇和島市～土佐清水市間の上下変動

Fig. 3 Results of leveling survey from Uwajima city to Tosashimizu city.

室戸地方の各水準点の経年変化

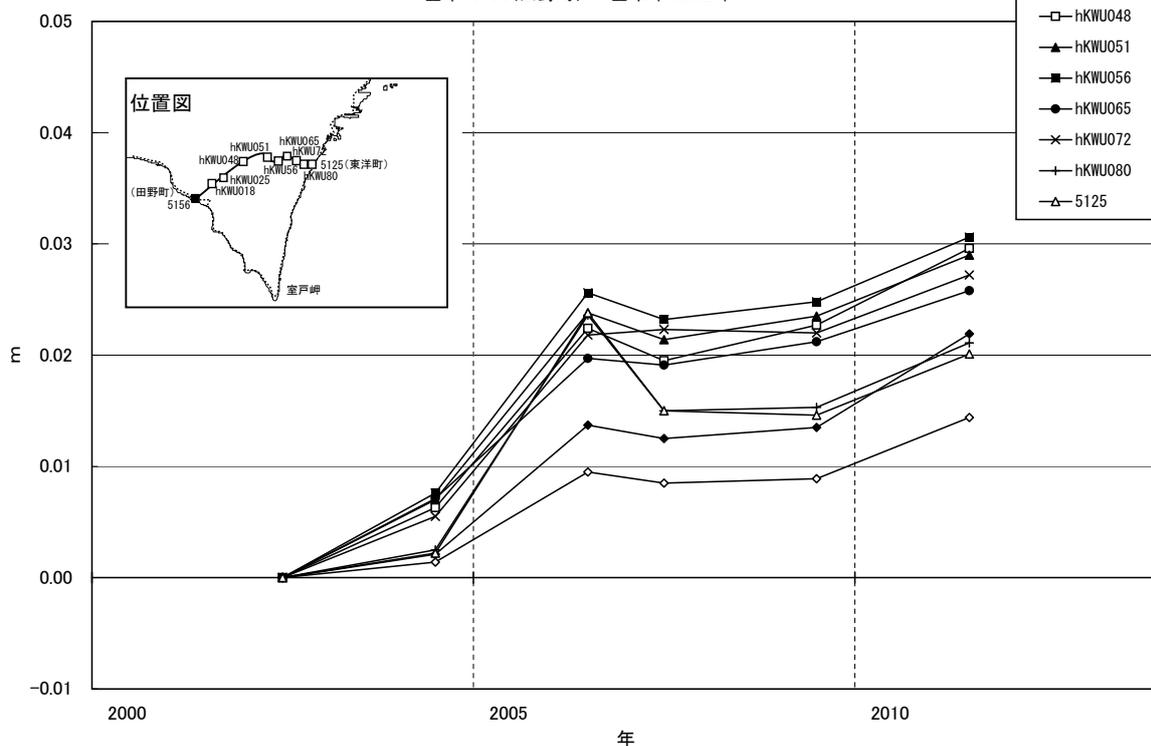
従来の傾向に変化は見られない。



第4図 水準点5163(安芸市)を基準とした室戸岬周辺の各水準点の高さの上下変動時系列
 Fig. 4 Time series of height changes of benchmarks along the leveling route on the coast of Muroto Peninsula from BM5163(Aki) to BM5141(Muroto) referred to BM5163(Aki).

室戸地方の各水準点の経年変化(室戸岬北側)

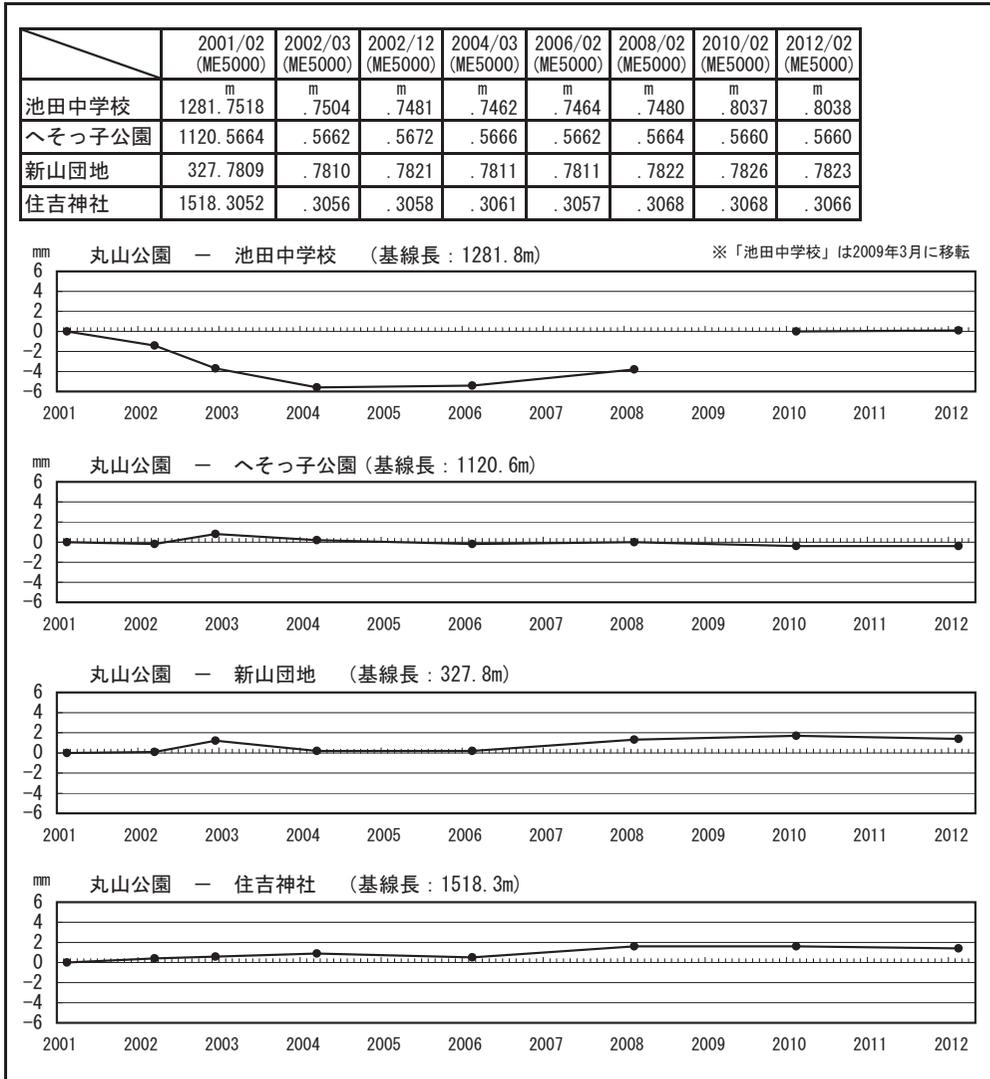
基準: 5156(田野町) 基準年: 2002年



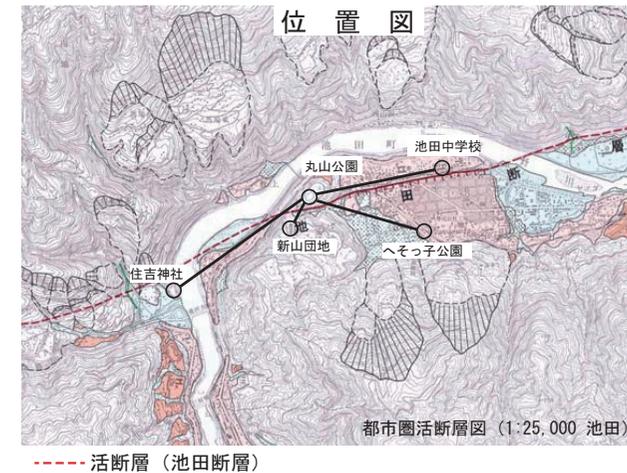
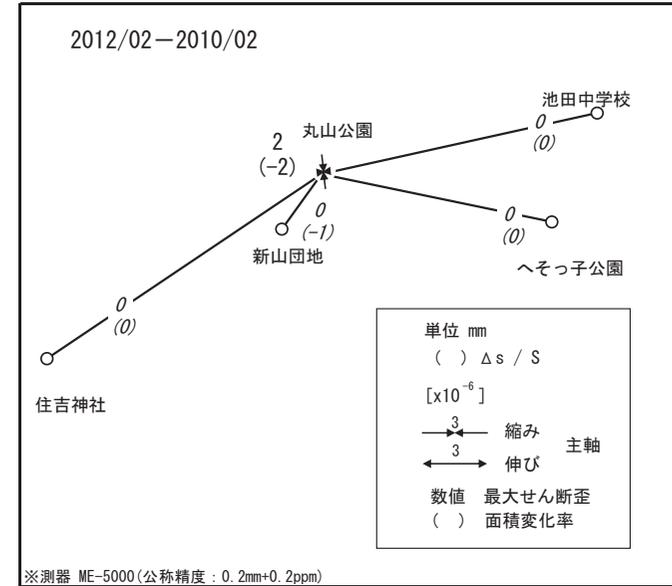
第5図 水準点5156(田野町)を基準とした室戸岬北側の各水準点の高さの上下変動時系列
 Fig. 5 Time series of height changes of benchmarks along the leveling route on the northern of Muroto Peninsula from BM5156(Tano) to BM5125(Toyo) referred to BM5156(Tano).

阿波池田地区 精密辺長測量 結果

辺長の経年変化



水平歪・辺長変化



第6図 阿波池田地区の精密辺長測量結果

Fig. 6 Results of repeated precise measurements of distance of baseline cluster in Awa-Ikeda district.